

美術科

I 美術科の学習目標

- (1) 中学段階においては、美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばす。
- (2) 高校段階においては、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、個性豊かな表現の能力を伸ばす。
- (3) 6年間を通して、美術に対する感性を豊かにするとともに、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

II 美術科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・鉛筆デッサン ・木彫制作 ・名画の模写制作 (2) デザインと工芸など ・レタリング ・色彩基礎 B鑑賞 ・作品鑑賞レポート	体験活動 ・美術館、博物館 見学（宿題） ・芸術鑑賞教室（歌舞伎）
	2年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・ボックスアート制作～物語の世界～ (2) デザインと工芸など ・ハイコントラスト構成 ・スクラッチアート（皿） B鑑賞 ・美術史（原始～バロック）	体験活動 ・美術館、博物館、ギャラリー見学（宿題）
	3年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・風景画制作 ・鉛筆デッサン「静物」 ・木彫制作 (2) デザインと工芸など ・ポスターデザイン B鑑賞 ・美術史（ロココ～20世紀美術）	日本の伝統文化 ・日本の伝統工芸品調べ学習
高校段階	4年	《美術Ⅰ》【必修選択】 A表現 (1) 絵画 ・鉛筆デッサン「手」 (2) 彫刻 ・木彫制作 (3) デザイン ・立体カード制作 ・ポスターデザイン B鑑賞 ・作家研究 ・日本美術作品鑑賞 ・仏像鑑賞 芸術鑑賞教室（歌舞伎）	
	5年		
	6年	《美術Ⅱ》【自由選択】 ○自由制作 ・デッサン、絵画制作、木彫制作、デザイン構成、鑑賞と論文を選択制で学ぶ。 ・1年間を通じた制作スケジュールを各自で計画し、文化祭、卒業制作として作品を発表、展示する。 * 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。	

教科名 美術科
 科目名 **美術**
 対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 美術への興味・関心を持ち、基礎的な美術表現を身に付ける。
- 2 楽しい美術活動を通して美術を愛好する心情を培う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 美術室での制作実習を基本とし、座学と実習を組み合わせた授業形態で実施する。
- 2 教員による講義、生徒による能動的な制作実習によって授業を進行する。
- 3 年に数回、制作した作品の鑑賞と美術作品の鑑賞を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書 開隆堂出版「美術1」
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容			
一 学 期	4		【オリエンテーション】 ・図画工作から美術へ 【レタリング】 ・イメージを伝える形 ・文字のデザイン	1		
	5			レタリング字典		13.5
	6					
	6		【色彩基礎】 ・色彩と光	2		
	7	1学期 期 末 考 査	・1学期期末テスト ・テスト解説 ・鑑賞	1 1 1		
	夏休み 宿 題		【美術館鑑賞レポート】			
二 学 期	9		【鉛筆デッサン】 ・スケッチブックから広がる 【木彫制作】 ・ずっと木といっしょに ・用具を知って使ってみよう	3		
	10					
	11			15		
	12	2学期 期 末 考 査	・2学期期末テスト ・テスト解説 ・鑑賞	1 1 1		
三 学 期	1		【名画の模写】 ・美術館へ行こう	10		
	2					
	3	3学期 学 年 末 考 査		・学年末テスト ・テスト解説、まとめ		1 1
				計 52.5 時間		
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 基礎的な知識、技術を身に着けているか 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか					

教科名 美術科
 科目名 **美術**
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情を深める。
- 2 発想豊かに制作し、創造的に表現する能力を伸ばす。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 美術室での制作実習を基本とし、座学と実習を組み合わせた授業形態で実施する。
- 2 教員による講義、生徒による能動的な制作実習によって授業を進行する。
- 3 年に数回、制作した作品の鑑賞と美術作品の鑑賞を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書 開隆堂出版「美術2・3」
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4		【オリエンテーション】 ・ 私たちに身近な美術 【ボックスアート】 ・ 私がイメージする世界 ・	1 8	
	5				
	6	1 学期 期 末 考 査	【美術史（原始～ビザンチン）】 ・ 美術史の扉 ・ 1 学期期末テスト ・ テスト解説	2 1 1	
7					
	夏休み 宿 題		【美術館鑑賞レポート】		
二 学 期	9		【スクラッチアート（皿）】 ・ つながるデザイン	1 0	
	10				
	11	【美術史（ロマネスク～ゴシック）】 ・ 美術史の扉	2		
	12	2 学期 期 末 考 査	・ 2 学期期末テスト ・ テスト解説	1 1	
三 学 期	1		【ハイコントラスト構成】 ・ 【美術史（ルネサンス～バロック）】 ・ 美術史の扉	5 1	
	2				
	3	3 学期 学 年 末 考 査	・ 学 年 末 テ ス ト ・ テ ス ト 解 説、 ま と め	1 1	
				3 5	
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 美術史、色彩論等の基本理解 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか 4 美術作品を鑑賞することができたか				

教科名 美術科
 科目名 美術
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 積極的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情をさらに深める。
- 心豊かな表現の構想を練り、想像力を働かせ、様々な表現方法を使って作品を制作する力を伸ばす。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 美術室での制作実習を基本とし、座学と実習を組み合わせた授業形態で実施する。
- 教員による講義、生徒による能動的な制作実習によって授業を進行する。
- 年に数回、制作した作品の鑑賞と美術作品の鑑賞を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書 開隆堂出版「美術2・3」
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題					
	4		【オリエンテーション】	レタリング辞典	1	
	5		【日本の伝統工芸ポスターデザイン】 ・目にとまる 心にとまる ・伝えたいメッセージ ・日本の伝統色	・日本の伝統工芸品調べ学習	8	
	6		【美術史（ロココ～写実主義）】 ・美術史の扉		2	
	7	1学期 期 末 考 査	・1学期期末テスト ・テスト解説		1 1	
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・美術館鑑賞レポート			
二 学 期	9		【木彫制作】 ・語る彫刻		10	
	10					
	11		【美術史（印象派～世紀末美術）】 ・美術史の扉		2	
	12	2学期 期 末 考 査	・2学期期末テスト ・テスト解説		1 1	
三 学 期	1		【風景画制作】 ・私が見つめた風景		5	
	2		【美術史（20世紀美術）】 ・美術史の扉		1	
	3	3学期 学 年 末 考 査	・学年末テスト ・テスト解説、まとめ		1 1	
					計 35	
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 美術史、色彩論等の基本理解 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか 4 美術作品を鑑賞することができたか					